はばたけ

名護幼稚園
名護小学校　便り17号
令和5年9月14日
発行者　仲宗根 勝也

話したい 聴きたい がいっぱい

名護小学校ホームページにカラー版を掲載しています。

9月11日、校内授業研究会を行いました。昨年度に引き続き、元文科省調査官で京都女子大学教授の水戸部修治先生を招聘し、「自分の思いや考えを豊かに表現できる子どもの育成」をテーマに行いました。

当日は、2年2組と5年3組で公開授業を行いましたが、2学年、5学年共に授業を公開し合うなど研究を深めてきました。指導助言者の水戸部先生からも本校のこれまでの取組と2年5年の授業研究に対してご好評いただきました。

授業研修会のため早下校となりましたが、授業研修会は、教師の授業力向上になくてはならない重要な取組です。年に3回の取組になりますが、保護者の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

【2年生の授業】

子どもたちが苦戦する「書くこと」を子ども同士の対話を通して深めることに挑戦した授業でした。子どもたちは、「まち探検」で、タブレットを使って様々な場面を撮影しました。その画像をもとにペアで対話をすることによって、色々なことを思い出してきます。始めは、たどたどしい対話ですが、何人かと話していくうちに、伝えたい話がだんだんと形になっていきます。そして、「作文、書けそうだな」と思ったら、自分のタイミングで報告文を書く作業に入っていきます。この授業では、話し手も大切ですが、何よりも聞き手がどんな質問をするかが大切になります。子どもたちの伝えたい、聴きたいがいっぱいあふれる授業となりました。

【5年生の挑戦】

椋鳩十の「大造じいさんとガン」の学習の際に作者の他の作品も授業と並行して読み進め、読んだ本の中から、一番おすすめしたい作品を「イチ推しレター」にまとめ、屋部小学校の5年生へ紹介することをゴールに据えた授業でした。椋鳩十作品の魅力を伝えるため、作品の叙述に着目しながら対話を進める子どもたち、自分の思いや考えを一生懸命伝えようとしてる姿がとても素敵でした普段から活発に話し合いをしている5年3組のみなさんですが、この日の意気込みに圧倒される感じもしました。きっと、たくさんの作品を読み込んだに違いありません。ハイレベルな内容でしたが、誰一人取り残さない、どの子も活躍している授業でした。

プロの演奏にうっとり

～アウトリーチ事業～

9月12日～14日まで、名護市の「芸術に触れ合う感性豊かなひとづくり…アウトリーチ事業」で2人の音楽家をお招きして鑑賞会を行いました。アウトリーチとは、英語で手を伸ばすという意味で、劇場からアーティストが飛び出して手を伸ばし観客と一緒に芸術を楽しむことです。今回は、ピアニストで指揮者の中川賢一さんとフルート奏者の荒川洋さんが、演奏だけでなく、曲の紹介や子どもの頃の夢なども交えて子どもたちと音楽を楽しんでくれました。荒川さんは、舞台から降りて子どもたちの近くで演奏もしてくれました。低・中・高学年と演奏する曲も子どもたちに合わせて選曲してくださいました。暑い中でしたが、うっとりする演奏に心が和んだ一時でした。

舞台下まで降りて演奏してくれました

大好き！　水遊び

9月8日、1年生が生活科の「なつとあそぼう」の単元で、水遊びを行いました。水のかけ合いっこをしたり、シャボン玉を作ったり、水鉄砲で遊んだり、砂場に水を溜めたり、水にジャブジャブつかったりと子どもたちは思いのまま楽しそうに遊び込んでいました。ほとんどの子がびしょびしょになりながらも、友達と関わり合いながら水の感覚を楽しんだり、冷たさを感じ取ったり味わったりして、夏を楽しんでいるよう見えました。

子どもたちは、遊びながら色々なことを学んでいきます。遊びってやっぱり楽しいですよね！

くさりの縄跳びからシャボン玉がいっぱい

みんなびしょ濡れ

男バスCチーム優勝！

9月2日に行われた第22回国頭地区ミニバスケットボール交歓大会Cチーム大会において、名護小男子Cチームが優勝したことを報告に来てくれました。これからの活躍がとても楽しみですね。
優勝、おめでとう！

空手W銅メダル！

8月27日に行われた第12回名護市空手道選手権大会5年生女子の部において、加藤鈴依さんが形競技と組み手競技の両方で3位入賞したことを報告に来てくれました。鈴依さんは、形競技の方が好きだそうです。大好きな空手でこれからの活躍してください。銅メダル、おめでとう！